

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858



ロータリーは機会の扉を開く

ロータリーは機会の扉を開く

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2020年11月5日 第3442回例会

会 長 光 寄 賢 一 副 幹 事 鈴 木 洋 志
幹 事 柄 倉 勲 副 会 長 松 田 暁 昌
会長エレクト 梯 國 彦 会報委員長 加 藤 寛 之

第3440回例会の記録 2020年10月15日(木)

会長挨拶

光寄賢一

今日のお客様は公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンターから事務局長の古田雅巳さんと朝比奈栄治さんにおいて頂きました。コロナの影響で、私の年度では初めてロータリークラブ会員以外の講師をお招きして卓話を頂戴することになります。よろしくお願ひします。そして今日、新入会員の石本靖朗君をお迎えしました。歓迎いたします。後ほど入会式を行います。来週の例会はお休みです。再来週 29 日は職場例会で久しぶりの持ち出し例会です。私も楽しみにしております。

お城、あれこれ (10)

「岐阜城の天主 その2」

岐阜城に信長を訪ねた宣教師ルイス＝フロイスの報告を私流にまとめます。一階には「15 ないし 20 の座敷」があり、鍍金された「屏風や純金製の留め金や釘」で飾られている。これらの座敷は「鏡のように磨かれた」地面に触れんばかりの高さの縁に囲まれ、外は「すべてが珍しい」庭(複敷)がある。二階には「奥方の私室と部屋、侍女たちの部屋」があり一階よりはるかに優れていてそれらの座敷には金欄の幕が張られ、市の側、山の側に一階と同じく見晴らし台がある。「山の高さに達する」三階には茶の座敷が幾つかあり山側と水平に茶室とつながる廊下があり「非常に落ちていて騒音がない」。三、四階の見晴らし台と縁から「全市が一望」できる。「工夫を凝らした別の庭」のある茶の座敷を見せられた、と。分からないのは、4 階建ての日本建築で二階から三階に登ると急に静寂感につつまれる？三、四階から庭のある茶室に行ける？で、発掘成果と合わせてみるとこれは4つの御殿が山の斜面を均した平地に建ち、上へ段々に連なっているのではないかと。越前の永平寺みたいです。建物が階段で繋がるから一階、二階と記録した。三階、四階になると随分山奥側に入るので騒がしい城下からも離れ静寂になる。三階と小山の頂上に建てられた茶室が廊下で水平に繋がっていても不思議ではない。そんな訳で四階建ての建物はないと考えています。最近はその考える研究者が多くなりました。

委員会報告

ニコボックス

浅井孝介

☆ 森 克彦君

一宮ファッションデザインセンター古田雅巳事務局長を本日の卓話講師として迎える喜びで。

☆ 大鹿晃裕君

今日は一宮地場産業ファッションデザインセンター事務局長の古田様と朝比奈様をお迎えした喜びで。また先週木曜日のNHKの生中継に引

プログラム

ロータリー財団月間卓話
朱宮新治君(犬山RC)

(地区ロータリー財団委員長)

テーマ「ロータリー財団プログラムについて」

国 歌 「君が代」
ロータリーソング 「奉仕の理想」

11月度のプログラム

5日 ロータリー財団月間卓話 朱宮新治君
12日 インシエーションスピーチ 島田典明君 松岡泰憲君
19日 例会変更 夜間例会 ポジョレヌーボー解禁
24日 会員卓話 坂井田敏行君

会員誕生日おめでとう

北谷公司君(11月 3日) 浅井貴裕君(11月11日)
佐藤和幸君(11月13日) 森 保彦君(11月14日)
野々垣武彦君(11月16日) 墨 芳郎君(11月16日)
滝 善藏君(11月20日) 梅谷朋志君(11月26日)
則竹伸也君(11月29日)

会員夫人誕生日おめでとう

磯部 茂君夫人満智子様(11月 8日)
三嶋啓一郎君夫人亜 美様(11月14日)
二ノ宮道彦君夫人志のぶ様(11月15日)
森島勝美君夫人陽 子様(11月15日)
大鹿晃裕君夫人仁 美様(11月18日)
西岡隆夫君夫人恭 代様(11月24日)

結婚記念日おめでとう

青山佳裕君(11月 3日) 北谷公司君(11月 4日)
光寄賢一君(11月 6日) 伊藤幸一君(11月 9日)
青木俊憲君(11月11日) 佐藤博之君(11月11日)
榊原 譲君(11月12日) 佐藤和幸君(11月15日)
山田一仁様(11月18日) 熊澤智宏君(11月18日)
鵜飼雅弘君(11月19日) 杉山義幸君(11月22日)
柴垣健一君(11月23日) 村川文穂君(11月24日)
猪子誠兒君(11月26日)

次回の予定

インシエーションスピーチ
島田典明君 松岡泰憲君

き続いて昨日の中日新聞に弊社の繊維業での尾州のカレントが掲載された事を誇りに思っています。

☆ 石本靖朗君

歴史と伝統ある一宮ロータリークラブに出入り出来た事を大変光栄に思います。今後ともご指導の程よろしくお願ひします。

☆ 光寄賢一君 枋倉 勲君

本日の例会に一宮ファッションデザインセンター事務局長・古田雅巳様、朝比奈栄治様より卓話を頂戴いたします。古田様、朝比奈様どうぞよろしくお願ひ致します。また新入会員として石本靖朗さんをお迎え致しました。

出席報告

現在の会員数	112名
本日の出席数	69名
本日の出席率	61.60%
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

卓話

古田雅巳氏

(一宮地場産業ファッションデザインセンター事務局長)

テーマ「尾州産地 ～前を向いて～」



・一宮市を中心とする尾張西部地域と羽島市を中心とする岐阜県西濃地域に広がる繊維産業地域を尾州産地と呼びます。尾州は古の行政区分「尾張の国」を指し、春日井市や知多半島もその一部になります。繊維業界では、尾州といえば尾州産地の地域を指します。木曾川が育む豊かな風土に恵まれた尾州産地は、世界屈指の毛織物産地として栄えてきました。世界には、イギリスのハダースフィールド、イタリアのピエラ、尾州が「世界三大毛織物産地」と称されます。3つの産地には、毛織物の染色・加工に適した軟水を豊富に湛えた川が流れています。ハダースフィールドは、ペナイン山脈沿いに流れるホルム川とコルネ川、ピエラはアルプス山脈を水源としたエルボ川とチェルボ川、そして尾州は木曾川です。

・毛織物の製造工程は、多くの工程に分かれており、原料から補修まで、流れをまとめただけでもこれだけの工程があります。尾州にはそのすべての工程が備わっており、狭い地域の中で糸から生地仕上げる、高い技術を繋ぐ一貫生産が他の産地にはない強みです。

・各工程毎に団体が組織されており、その数は20を超えます。FDCが各団体さんのハブとなり、産地内外に産地の魅力を発信して参ります。

・尾州産地は大変な危機に直面しております。昨シーズンの暖冬とコロナウイルスの影響です。特にこの3月以降の百貨店等の閉店措置により、春夏物の販売が停滞し多くの在庫を持ち越す、来シーズンの発注が停滞する原因となりました。次に尾州の多くのメーカーが得意とする秋冬物は、暖冬による在庫過多に加え現反発注が停滞しました。リモートワークが進み、外出用衣料への購買意欲が減退したことも厳しい要素となっております。

・FDCでは先日秋葉原にて生地の展示会を開催いたしました。尾州産地の織物は、その質感を顧客がリアルに触れることによりその優位性で勝負してきました。様々な方から「本当に開催するの？」とのお

声は数多頂戴し、相当悩みましたが、「相対での商談が叶わない。」「リモートでは生地の本当の良さが伝えづらい。」「とのお声を最重要と捉え、感染防止対策に配慮しつつ、「メイドイン尾州の今」と「前を向いて進む尾州」をアピールいたしました。

・FDCでは、広く消費者の皆様におわかりやすく「メイドイン尾州」をアピールしようという狙いで、平成28年に尾州マークのロゴを商標登録し、尾州マーク認証制度の運用を開始しました。現在、マークをプリントしたポスター、タグや織ネームを作成し、尾州産地のPRツールとして活用しております。

・に昨年秋以降、有名アパレルの店頭で、タグや織ネームを付けた製品が目立つようになり、このコロナ禍においても、差別化した製品を求める声に応える形で使用実績は伸びております。

・認証を受けることができる生地の条件につきましては、次の2点が条件となります。⇒①「織布・編立」「整理加工」の2工程を尾州産地内で行う。②尾州産地の優位性・意匠性を訴求できる。「尾州」の指定地域は資料参照。

・産地の未来を担う若手の活躍をご紹介します。

一昨年、産地内企業の若手社員さんたちが、「産地を何とかしたい！」と立ち上げた「尾州のカレント」というグループが、意欲的な活動をされています。メンバーは、大鹿(株)様の社員彦坂雄太さんを中心とした、繊維の様々な業種に携わる方々です。活動内容は、広報活動、商品企画、イベント企画・出店などで、昨年11月には、西萩原の木玉毛織(株)様の社屋にて「びしゅう産地の文化祭」と銘打ち、来場者2,000人を超える催事を企画・運営されました。工場見学からふれあい体験まで、繊維の魅力をふんだんに盛り込んだ内容でした。今年は11月22日(日)に予約制で開催されるそうです。彼らの活動は、テレビや新聞で取り上げられており、産地の活性化に繋がる取組みとして大いに期待しております。

・尾州産地には、マスコプロダクト(量産品)に流されない、時代と共に磨かれた技が織りなす確固たるオリジナリティがあります。地球に優しい天然繊維「ウール」を主役としてきた尾州産地が、次世代に繋がるものづくり、持続可能なものづくり産地として、これからもあり続けるよう力を尽くして参る所存です。

ご清聴ありがとうございました。

第3441回例会の記録

2020年10月29日(木)例会変更
職場例会 カリモク家具本社工場見学



SUNSET WALKER HILL